

★ 元 村 東 自 治 会 ★



1. 沿革

平成元年3月、元村北自治会より分離独立し、平成とともに歩んできました。独立当初は、ふるさと交流館がすぐ前にあることから自治会活動はふるさと交流館を使用することになっており、地区の集会所は設けませんでした。近年ふるさと交流館の利用者が増え、会議等の使用が困難なことと自主防災会設立の活動の拠点が必要な事で平成19年10月に埋蔵文化財の保管場所であるプレハブの南側一部改装してもらい集会所と防災倉庫として使用しています。

2. 地域の概要と活動内容

元村地区のほぼ中央に位置し高速道より東側、滝沢厨川北側で約370世帯の自治会です。東側より1区・2区・3区からなっており、各区から副会長、理事、事務局、監事を選出、専門部部長は理事会で選出して総会で承認をうけ、会長は総会で互選で選出します。

専門部は、総務部・教養文化部・体育部・地域安全部・衛生活動部・福祉活動部で顧問として各副会長が分担します。

3. 特色のある行事

元村地区の中央に位置していることから、自治会設立当初より元村中央自治会と合同の「敬老会」・「夏祭り」、元村北自治会との合同の「演芸会」開催など協力しながら行事を行っております。

自治会設立当初2件の火災があり、その年の秋より消火器による初期消火訓練を毎年実施しています。

一人暮らしの高齢者や身障者に毎月昼食サービスを実施しています。災害時の対応や支援体制について自主防災会（平成20年2月設立）、自治会役員、民生委員、保健推進員等で対応方法を検討中です。

地区中心を諸葛川が流れており、枯れ木や雑草がひどく不審火等の火災により大きな火災が心配されるため、平成21年より年2回、村の一斉清掃に合わせて草刈を行っています。

元村東自治会の目指す姿

滝沢村自治会連合会 40 周年記念の企画を受けて、「元村東自治会の目指す姿」をテーマにした座談会を、平成 23 年 10 月 19 日に開催した。その際に話された内容を要約して報告する。理事会において検討し、できるものから実行に移していきたい。

自治会の現状

役員を引き受けるといろいろと忙しくなる。老人倶楽部の活動とも重なり活動を担うものが少ない。多くのものが分担する体制を作らないと活性化しない。

年度途中で行事を企画しても施設（小・中学校の体育館などを含む）の確保が難しいことがあり役員の負担になっている。

ここに住みたいと思える地域に

安心して住める地域にするには、そこにいる人を覚えることが大切なことである。そのためには、草取りの後にお茶の時間を設けるなど短時間でよいから会話を交わせる機会がほしい。

班が地域の単位であるから班長の引継ぎ会や花見会・芋煮会など各班で、懇親の機会を持つことが重要である。

参加してよかったと思える行事が必要である（ウォーキング、ゲートボール、輪投げなどがあげられた）。

なにか趣味を持つ人が仲間を集め同好会的な運営を行い、それを自治会が援助するという形ができることが望ましい。そうでないと自治会役員の負担が重くなる。

緊急時の連絡体制を

緊急時に家人に連絡しようとしても困難な事例があった。個人情報保護の問題があるが、緊急連絡簿の作成が必要である。

最低限の対策として、緊急連絡先を、各世帯の電話機のところに見やすく表示しておくことにしたい。（会員にその旨を早速に広報したいとの会長の意向が表明された）

